

～教職に対する思いが一層強くなりました～

2018年7月10日 教職支援室

甲府市立北新小学校訪問・・・6月27日（水）

今回訪問させていただいたのは、甲府市立北新小学校（10学級，児童数196人）です。北新小学校では，5人の学生の皆さんが活動しています。その内訳は，きめ細かな学習支援で1年生，4年生，6年生に1人ずつ，特別支援学級2人です。当日は，お忙しい中にもかかわらず，大村一也校長先生，齊藤宗市教頭先生が対応してくださいました。

児童の皆さんに聞きました

—「大学生が小学校に来て教えてくれること，どう思いますか」—

- ・教えてくれる人がふえて勉強が分かりやすくなるからいいです。
- ・お友達と会話をするのがにがてなAさんに，教えてくれるからいいです。

授業を終えた石川さんと安田さんに尋ねてみました

- ・石川さんと安田さん：教職に対する思いが一層強くなりました。
- ・安田さん：児童の自主性を尊重した授業の進め方を学んだり，教えることと教え込むことの違いを実感したりしました。
- ・石川さん：何が分からないか，何を教えたらよいか，子どもの反応で自分の指導が良いかどうか学んでいます。



<石川翔太さん算数のTT>



<授業を終えた石川翔太さんと安田愛恵さん>

高野彩夏先生，頑張っています



高野先生は，今年の3月に山梨大学教育学部科学教育コースを卒業し，4月より北新小学校の4年生の担任として，子どもたちと向き合っています。写真は，社会科の授業で「消防士と消防団の違いについて」子どもたちに問いかけている場面です。

高野先生にお聞きしました。

□毎日どんな気持ちで授業をしていますか。

- ・子どもたちにとって充実した一日になるように頑張ろうという気持ちです。

□先生になってどんなところにやりがいを感じますか。

- ・勉強でも学校生活のことで，子どもに頼られて，それを解決することができたときです。

□山梨大学の教職を目指している学生さんに一言。

- ・現場に若い先生が少ないので多くの方がこの世界に来てほしいです。

大村一也校長先生のお話

吹奏楽，花づくり，学力向上に力を入れ，特色ある学校づくりを進めていること，児童が素直で落ち着いた学校生活を送っていること，地域の方々や保護者の協力体制に感謝していることなど，お話をさせていただきました。また，教育ボランティアについては，児童の学習支援に対して感謝していただいたり，学生の皆さんの礼儀正しさを評価していただいたりしました。

齊藤宗市教頭先生のお話

特別の支援を必要とする児童の指導に対して，担任一人だと大変なところを支援してもらえることに感謝していること。教師を目指す上で学校現場に入ることは勉強になるので，学生の皆さんが数多く学校現場に入ることがプラスになることなど，教育ボランティアの大切さについてお話しいただきました。